

ふじみ市民学コース 行政と市民生活

富士見市のまちづくり現状と課題

第三回

人口減少・少子高齢化に対応する

富士見市の街づくりの 課題と展望

講師 水口知詩氏 総合政策部長

日 時	2020 年 10 月 17 日（土）10:00～12:00
場 所	鶴瀬公民館 ホール
講 師	水口知詩 氏（総合政策部長）
参 加 者	21 人（受講者数 18 人）

第三回講座は、第一回市長講座に引き続き「富士見市の街づくり」の第2弾として、「まちづくりの現状と課題」をテーマに水口総合政策部長をお迎えして行なわれた。

当日の進行は

- 1 前回の講義に対する質問
- 2 人口から見る富士見市
- 3 令和2年度の取組
- 4 質疑応答

前回の講義（市長講座）に対する質問の回答の後本題の、人口減少・少子高齢化が進行する中、これに対応する「人口から見る富士見市」について詳細な分析と課題について講義が行なわれた。

富士見市の総人口の現状は11万2千人。過去10年間は増加しており現在も微増を続けている。増加の原因は鶴瀬西やみずほ台周辺の団地の開発が主な原因。しかし「生まれてくる人数」から「死亡する人数」を差し引いた「自然増減」は2016年以降マイナスになっている。つまり富士見市の人口は減少しており団地開発により微増となっている。



講師 水口知詩 氏

この結果40年後の富士見市の人口は9万4千人まで減少すると推定される。又構成比も大きく変る。年少人口、生産人口が減少、反対に高齢人口が増加する。

人口減少と構成比の変化により市内の経済成長鈍化、子育て施設や小中学校廃校、税収の減少、老人社会保障費の増加等々様々な影響が想定される。

こういった現状に対する課題は、9万4千人まで減少すると推定される人口と年少人口の減少に歯止めを掛ける事にある。

具体的には「人」「暮らし」「まち」について「10万都市維持」の以下の政策が必要

1. 人口の確保 : 結婚・出産 支援、健康寿命延伸、住みたい生活環境、
2. 持続可能な街づくり : 強い産業と農業基盤形成、安心安全なまち





【講座のあらまし】（講座説明資料パワーポイント抜粋掲載）



テーマ 富士見市の街づくりの課題と展望

～人口減少・少子高齢化に対応する富士見市の街づくりの課題と展望～

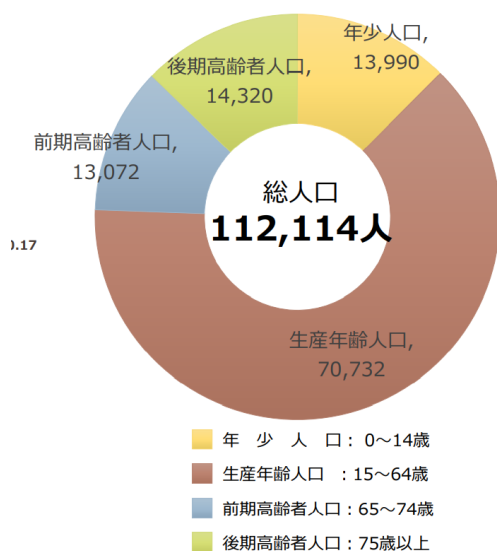
1. 前回の講義に対する質問

- ・ 1 ふじみ野駅周辺の住民はふじみ野市の施設をかなり使っています。交通を含めふじみ野市と共助の考えは？
- ・ 2. 東上線西側地域の活用方法が何もない。
- ・ 3. 高齢化対応の具体策：商店街の活性化
(身近な商店)、バス等の交通網の整備

2. 人口から見る富士見市

これまで と これから の人口動向

1. 現在の人口の状況（R2.9月現在）

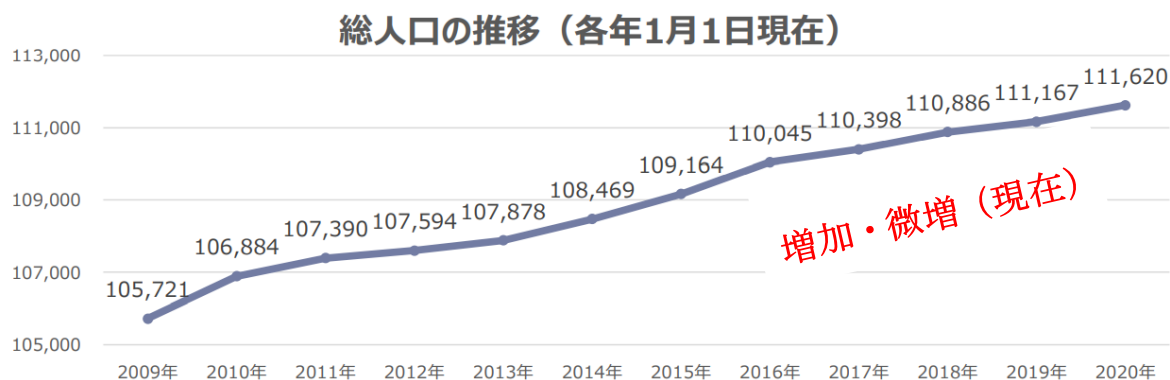


- ① 後期高齢者人口が14,000人を超える（R1.11）
- ② 後期高齢者人口が年少人口を上回る（R2.1）
- ③ 年少人口が14,000人を下回る（R2.9）



2. 総人口の推移（各年1月1日現在）

富士見市の総人口は過去10年増加、現在も微増ではあるが増加している

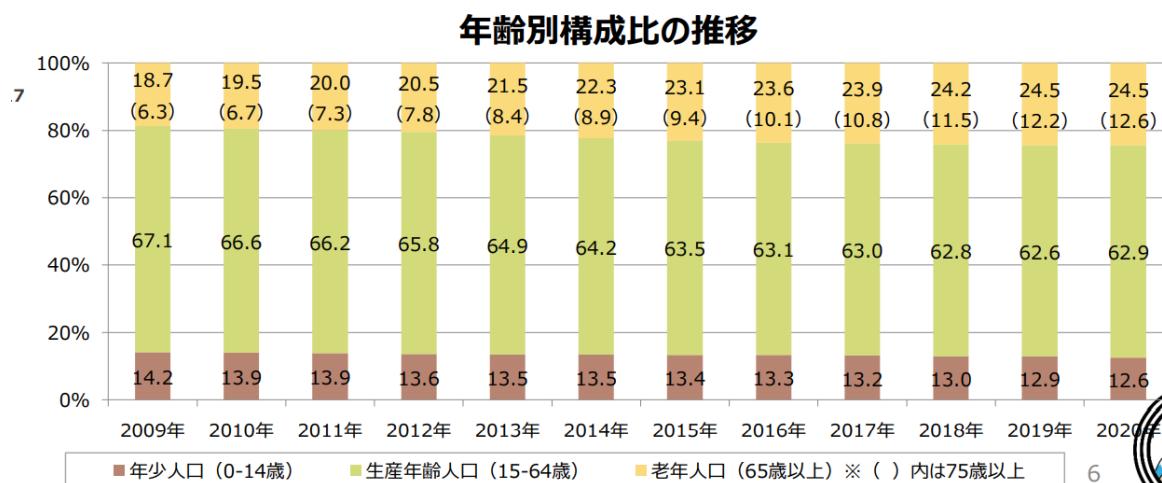


3. 10年間の年齢別構成比の推移

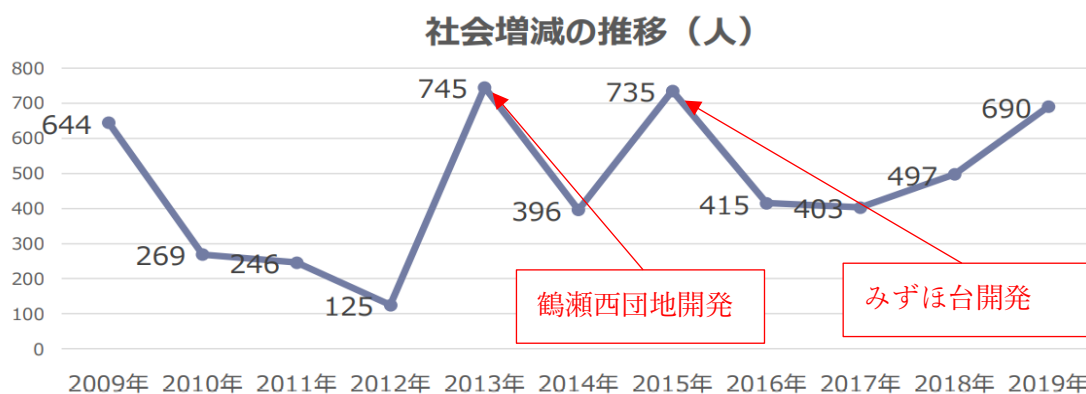
年少人口 14.2% ⇒ 12.6% (▼1.6%)

生産人口 67.1% ⇒ 62.9% (▼4.2%)

老齢人口 6.3% ⇒ 12.6% (+ 4.2%)

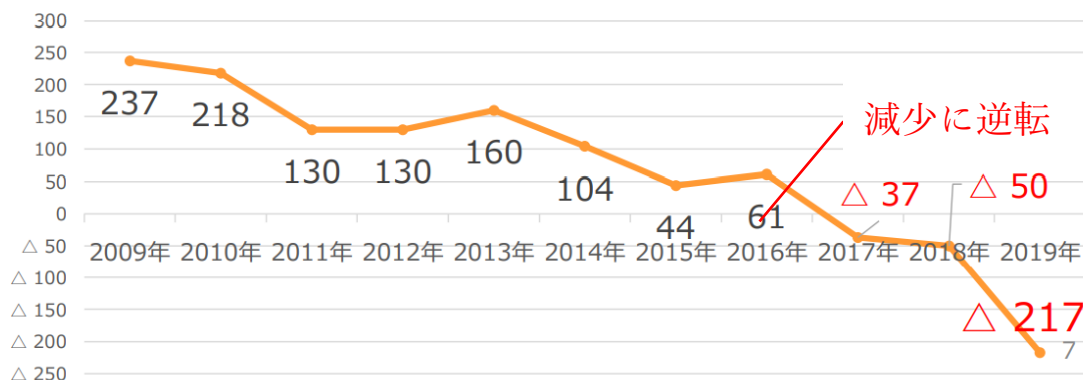


4. 人口増減（1）： 社会増減の推移は増加した



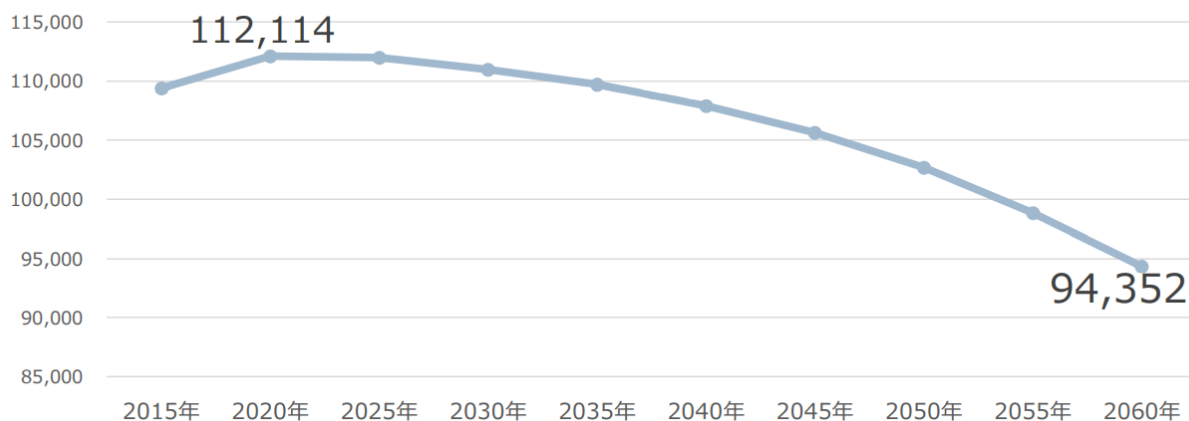
4. 人口増減（2）：自然増減（生まれた人－死亡した人）の推移は2016年以降増加から減少に逆転し、現状は人口減少。

自然増減の推移（人）



5. 総人口の推定： 2060年には富士見市の人口は9万4千人と推定される

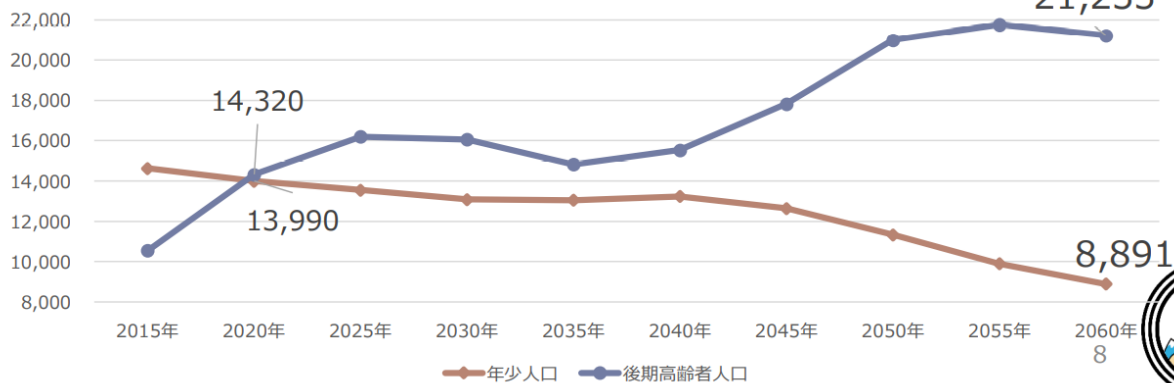
総人口の推移



7

6. 年少人口と後期高齢者人口の推移：2020年、年少人口より後期高齢者の方が多くなり2060年には後期高齢者の人口が多くなる

年少人口と後期高齢者人口の推移

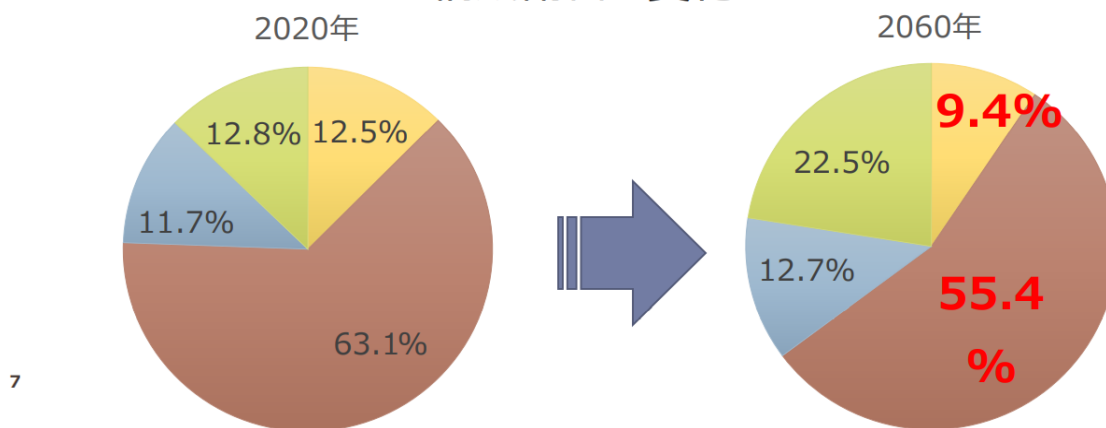


8

7. 2060年の構成割合

年少人口	12.5% ⇒ 9.4% (▼3.1%)
生産人口	63.1% ⇒ 55.4% (▼7.7%)
前期高齢者	11.7% ⇒ 12.7% (+ 1.0%)
後期高齢者	12.8% ⇒ 22.5% (+ 9.7%)

構成割合の変化



	2020年	2060年	差
年少人口	13,990	8,891	△5,099
生産年齢人口	70,732	52,267	△18,465
前期高齢者人口	13,072	11,961	△1,111
後期高齢者人口	14,320	21,233	6,913
総数	112,114	94,352	△17,762



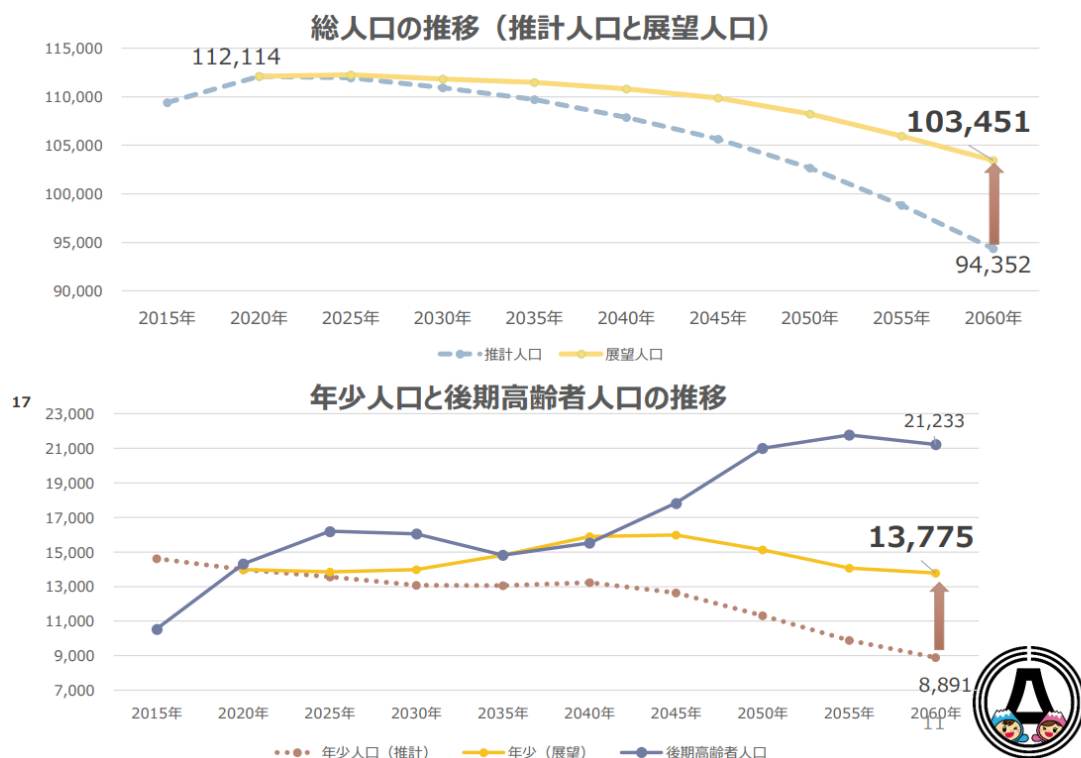
8. 想定される影響

各人口構成の変化により想定される影響

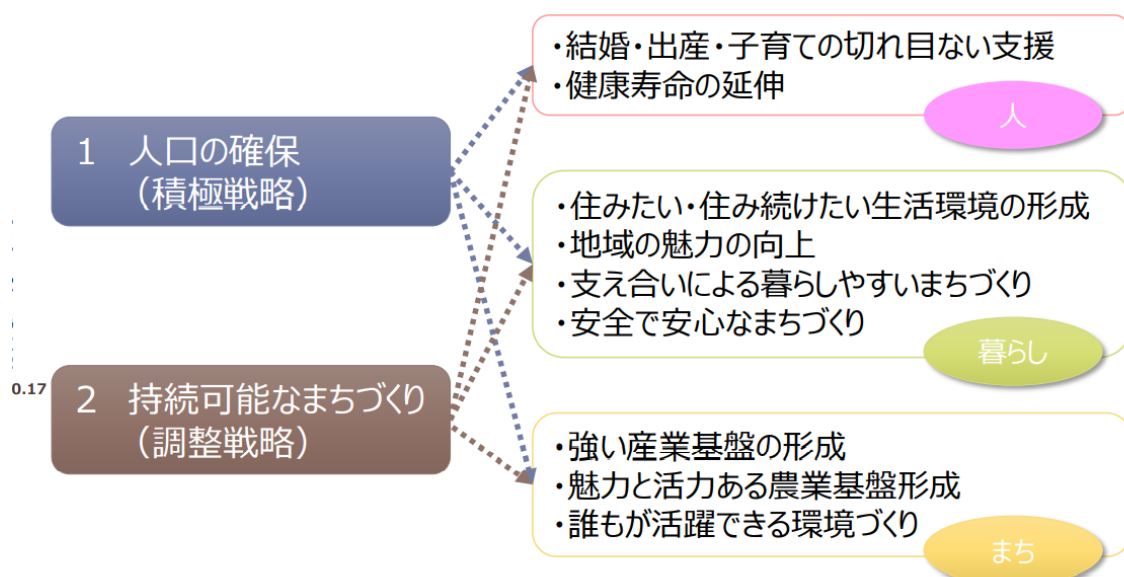
各人口構成の変化	影響（想定）
総人口の減少	✓ 市内の経済的な成長が鈍化 ✓ 年間商品販売額等の市内消費の規模が縮小 ✓ 倒産企業の増加 ✓ 空家・空き地の増加
年少人口の減少	✓ 社会保障費（児童関連）は減少 ✓ 子育て関連施設や小中学校等の学校教育施設において、空き教室及び廃校等の発生
生産年齢人口の減少	✓ 市内生産の付加価値額が低下 ✓ 市内の事業所数の減少 ✓ 担税力の中心である生産年齢人口が減少することにより、個人市民税の減少
老年人口（特に75歳以上人口）の増加	✓ 老人福祉費及び扶助費などの社会保障費の増加 ✓ 介護・医療関連ニーズの増加による施設及びサービス（担い手）の逼迫

9. 総人口の推移（推計人口と展望人口）

1. 9万4千人まで減少が推定される人口を10万台をKeepしたい。
2. 年少人口減少押さえ13775人を確保したい



10. 今後に向けて



第6次基本構想・第1期基本計画及び
第2期富士見市キラリと輝く創生総合戦略に反映



3. 令和2年度の取組 ―令和2年度の実施事業―

1. 令和2年度の取組 (人・その1)

人

- ・オリジナル母子手帳の作成
- ・産前・産後サポート事業の実施
- ・授乳に関する訪問相談支援



1.17



- ・STEM教育の実施
- ・GIGAスクール構想の実現
- ・特色ある幼児教育の推進

14



2. 令和2年度の取組 (人・その2)

人

- ・フレイルチェック事業の実施
- ・健康マイレージの推進
- ・パワーアップ体操の推進



1.17



- ・成年後見人の利用促進
- ・障がい者基幹相談支援センターと障がい者就労支援センターの統合
- ・がん検診の促進

15



3. 令和2年度の取組（暮らし・その1）

暮らし

- ・PRパンフレット・電車広告
- ・コンビニ交付システムの導入
- ・LINE Pay納付の導入

17



- ・交差点の安全対策
- ・振り込め詐欺対策電話機等
購入補助
- ・空家等対策の推進

16



4. 令和2年度の取組（暮らし・その2）

暮らし

- ・びん沼自然公園の整備
- ・ごみ分別アプリの対応言語追加
- ・配偶者暴力相談支援センター
の設置

17



- ・防災ガイドブックの改訂
- ・図川排水機場のポンプ増強
- ・フラップゲートの設置
(水谷東2丁目)

17



5. 令和2年度の取組（仕事・その1）

仕事

- ・シティゾーンの整備
- ・認定農業者、市内中小企業、新規創業者などへの支援
- ・商店街空き店舗出店費用の補助



17



- ・農バルプロジェクトへの補助
- ・「縄文海進」、「梅恋花」などの販売促進
- ・農地の集積・集約

18



6. 令和2年度の取組（新型コロナウイルス感染症対策 その1）

- ・スクスク子育て応援特別給付金
- ・個別乳幼児健診の実施
- ・ひとり親世帯への給付金



17



- ・スクールサポートスタッフの増員
- ・受験対策講座の実施
- ・学校給食費の無償化

19



7. 令和2年度の取組 (新型コロナウイルス感染症対策 その2)

- ・市内共通商品券の発行
- ・消費活性化クーポン券の発行
- ・WITHコロナ実践小規模企業者
応援金支給事業



17



- ・健康マイレージでフレイル予防
- ・避難所の感染症対策強化
- ・町会活動の感染症対策強化

20



8. 市内共通商品券・市内消費活性化クーポン券について

■ 概要

8月1日時点で市に住民登録のある方(世帯)を対象に、市内の取扱加盟店で使える商品券・クーポン券を1世帯につきそれぞれ1冊を販売・配布します。

■ 富士見市内共通商品券

1冊13,000円分の商品券(500円×26枚)を10,000円で販売

内訳 A券(市内取扱加盟店全店舗で利用可) 10枚、B券(大型店舗を除く小売店のみ利用可) 16枚

■ 消費活性化クーポン券

1冊3,000円分のクーポン券(500円×6枚)を無料で配布

内訳 A券(市内取扱加盟店全店舗で利用可) 2枚、B券(大型店舗を除く小売店のみ利用可) 4枚

■ 商品券・クーポン券の利用の流れ

9月上旬から順次各世帯へ商品券購入引換券とクーポン券を郵送します。

商品券9月14日(月)以降に商品券購入引換券と本人確認書類を郵便局に持参し、10,000円で購入。9月14日(月)から利用できます。

0.17

■ 商品券の販売期間 9月14日(月)～11月30日(月)

■ 商品券の販売場所

市内各郵便局(8局)(平日のみ。午前9時～午後5時)

三芳郵便局、三芳みよし台郵便局(平日のみ。午前9時～午後4時)

JAIいるま野市内各支店(平日のみ。午前9時～午後3時)

JTBトラベルネット(ららぽーと富士見内)(無休。午前11時～午後6時30分)



■ 商品券・クーポン券の利用期間

21



【アンケート集計結果】

総参加者	21人
受講生	18人
アンケート回収	14人（回収率67%）

Q1. 今回の講座、受講をされて満足されましたか。

- | | |
|----------|---|
| 1. 大いに満足 | 7 |
| 2. 満足 | 2 |
| 3. 普通 | 6 |
| 4. 不満 | |

Q2. 不満と回答された方にお尋ねします。

（講義内容、運営方法、スタッフの対応）

「不満」の回答 無しのため記載なし

Q3. ご不満の内容を具体的に記入ができましたら、お願いいたします。

記載なし

Q4. 来期以降の「行政と市民生活」講座について、取り上げてもらいたいテーマがありましたら記入をお願いします。

1. 市の税金の仕組みと額、他治自体との額比較

Q5. 回答者の所属についてお尋ねします。

- | | | | |
|------|----|----------|---|
| ① 女性 | 3 | ① 50歳以下 | 0 |
| ② 男性 | 10 | ② 50～60歳 | 0 |
| | | ③ 61～70歳 | 3 |
| | | ④ 71歳以上 | 9 |

Q6 市民大学に対する要望や「行政と市民生活」に対する提案ご意見を記入下さい

1. 市長との重複があった
2. 継続的に講座に参加しているが、「前回講義に対する質問」の回答があったのは数少ない
3. 最近公的機関や放送等の情報発信が行われる際、「年」と「年度」の判別が、理解しにくい状況にあります。富士見市（埼玉県）において区別はどのようなになっているか？
4. 市からの情報誌、アルファベットのみの表記、カタカナ表記が多くなっています。紙面の片隅にでも意味を解説していただけるとありがたい。
5. ありがとうございました。
6. もう少し具体的取組内容を説明してほしかった。